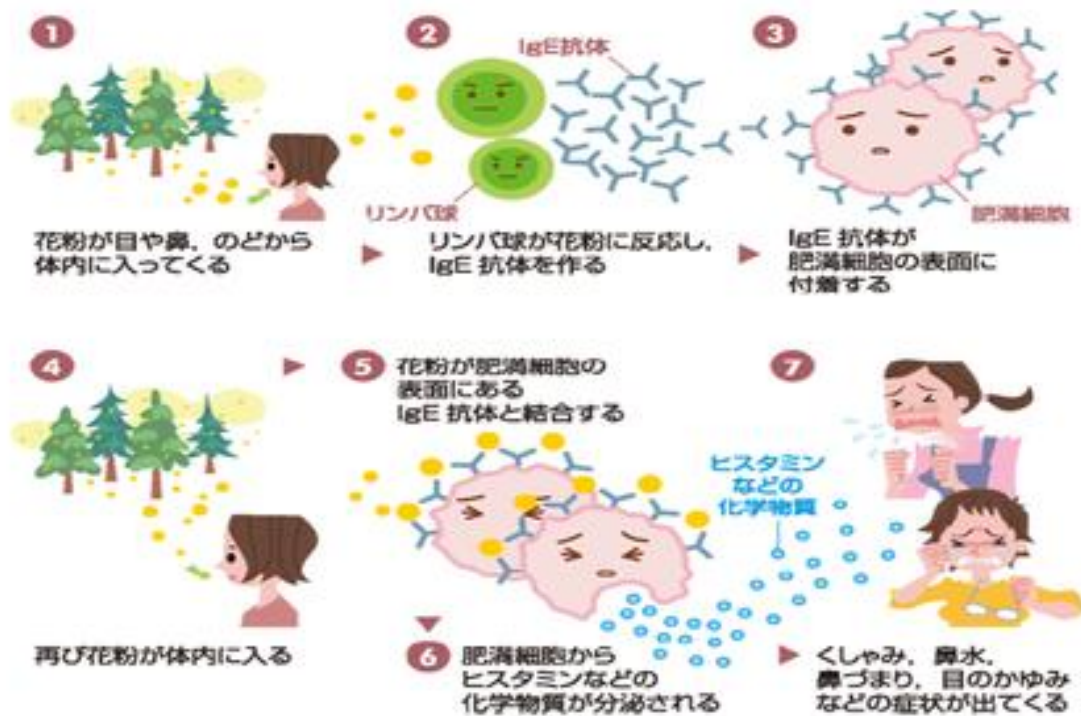




～花粉症について～

花粉症とは……目や鼻から入ってくる花粉が原因で起こるアレルギー反応で、現在、日本人の3人に1人が花粉症と言われています。＊1度発症すると、自然治癒することは極めて稀です。



＜原因＞ 原因となる花粉が鼻や目などの『粘膜』にくっつくことで、アレルギー反応が起きてしまいます。特に2月～4月に舞う「スギ花粉」によってアレルギーを起こす人が非常に多くなっています。

＜症状＞ 粘膜が充血して痒くなるため、目の痒みや腫れ、鼻水、くしゃみ、鼻づまりなどが最も多い症状です。ひどい方は熱が出たり、喘息のような咳が続く場合もあります。



<花粉症が業務に与える影響>



- <予防>
- 花粉が飛散する2週間位前から抗アレルギー剤を服用することで、シーズン中の症状を軽減できます。
 - 風邪を引かない、お酒の飲みすぎに気を付ける、睡眠を良く取る、煙草を控えるなどの粘膜を保護する生活が大切です。

<対策 セルフケア>

- 花粉飛散情報に注意する。
- 花粉の飛散が多い時の外出は控える。
- 外出時にマスクや眼鏡を使用する。
- 帰宅時は衣服や髪をよく払う。
- 洗顔・うがいを行う。
- 表面がけばけばとした毛織物のコートの使用を避ける。

<治療>

- 対症療法…症状の改善（内服薬、点眼薬、点鼻薬、貼り薬等）
- 根治療法…アレルギー自体を改善

それぞれのアレルギー免疫療法の違い

皮下免疫療法は、医療機関で投与が行われます。注射であるため痛みを伴い、さらに治療の始めは頻回に通院が必要となります。

一方、舌下免疫療法は舌下に治療薬を投与するため、皮下免疫療法のような痛みがなく、自宅で服用できます。しかし、服用量や服用方法、副作用に対する対応など、患者さんが皮下免疫療法と比べてより治療に対して理解を深める必要のある治療法です。

 こんな違いがあります。	皮下免疫療法	舌下免疫療法
		
投与方法	皮下に注射	舌下に投与
投与する場所	医療機関で、医師のもとで実施	自宅で服用 (初回投与のみ医師のもとで服用)
痛み(注射による)	あり	なし
治療に対する患者さんの理解	必要	皮下免疫療法より詳しく必要